

## 原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2018年7月」

### 2018年

- 7月1日 12時42分ごろ、大阪府北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。大阪府枚方市で震度3。
- 7月2日 午前2時27分ごろ、青森県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。青森県東通村で震度4、北海道函館市、青森県野辺地町、階上町で震度3。
- 7月2日 20時53分ごろ、青森県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。青森県むつ市、野辺地町、七戸町、東通村、青森南部町で震度3。
- 7月2日 東京電力が、福島第一原発2号機の使用済み燃料プールに保管されている核燃料の調査用ロボット2台を建屋内部に投入した。
- 7月2日 原発再稼働を求める意見書を昨年末に可決した埼玉県議会・議会運営委員会で、市民団体から提出されていた再稼働反対や廃止の請願3件の不採択を決めた。
- 7月2日 再稼働した玄海原発4号機がフル稼働状態になった。原子力規制委員会の最終検査を経て、7月19日にも営業運転に移行する。
- 7月3日 政府が原発政策を維持するため、電力会社の支援を検討することを盛り込んだエネルギー基本計画を閣議決定。原発については、エネルギー供給の安定性に寄与する「ベースロード電源」と位置付け、再稼働推進を堅持した。
- 7月3日 20時38分ごろ、日向灘を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度3。
- 7月3日 建設中の中国電力島根原発3号機の稼働に向け新規規制基準による安全審査を国の原子力規制委員会に申請することを、松江市が了解した。
- 7月4日 原子力規制委員会が、東海第二原発について、再稼働に向けた安全対策の基本方針を定めた新規規制基準に適合しているとする審査書案を了承した。2011年の東日本大震災で地震や津波の被害を受けた原発としては初の合格となる
- 7月4日 関西電力大飯原発3、4号機運転差し止めを求めた訴訟の控訴審判決で、名古屋高裁金沢支部の内藤正之裁判長は「2基の危険性は社会通念上無

視し得る程度にまで管理・統制されている」として、差し止めを認め一審福井地裁判決を取り消し、住民側の請求を棄却した。

- 7月4日 近藤宏樹・安来市長、長岡秀人・出雲市長、速水雄一・雲南市長が中国電本社を訪れ、清水希茂社長に立地自治体の島根県、松江市と同様の島根原発安全協定の締結申し入れを行った。3市による申し入れは4回目。
- 7月4日 伊方原子力発電所3号機の運転停止を命じた広島高等裁判所の仮処分決定に対する四国電力が行った異議の申し立ての審理で、住民側は、火山学の専門家などの証人尋問を裁判所が認めなかったことから、3人の裁判官全員の交代を求める申し立てを行い、審理は一時中断することになった。
- 7月4日 東京電力が、東海第二原子力発電所について、安全対策工事の資金調達を支援する意向に対し、原子力規制委員会が経済産業省に福島第一原発の廃炉作業などの支障とならないか見解を示すよう文書で求めた。
- 7月4日 原子力損害賠償・廃炉等支援機構が、東京電力福島第一原発の廃炉に向けた「戦略プラン」のなかで、1～4号機の使用済み核燃料プールから取り出した燃料について、2020年度をめどに保管と処理の方法を決定するとした。
- 7月4日 石巻市と宮城県が、女川原発から5キロ圏内の予防的防護措置区域(PAZ)の住民に対し、2016年に配布した安定ヨウ素剤の一斉更新を始めた。女川町は8日に開始。
- 7月5日 国の原子力委員会(岡芳明委員長)が、2017年度版原子力白書のなかに、福島第一原発事故後に残る原子力に対する不安解消に向け、原子力関係者に国民との対話強化を求めること、日本が国内外に保有するプルトニウムの削減に取り組む必要性も盛り込んだ。
- 7月5日 九州電力の池辺和弘社長と佐賀県の山口祥義知事と県庁で面会。九電側は、3月以降に再稼働した玄海3、4号機に関し「安心してもらえるよう安全、安定運転をしていきたい」と決意を示した。
- 7月5日 原子力規制委員会が、伊方原発の敷地内に使用済み核燃料を保管する「乾式貯蔵施設」の設置に向けた原子炉設置変更許可の審査を始めた。
- 7月6日 日立プラントコンストラクションが、原発廃炉工事の受注拡大を狙って、プラント解体専門のベステラと業務提携。
- 7月6日 日本時間6日午前10時40分ごろ、北海道の北東に位置するロシアのカムチャツカ半島南端を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生した。
- 7月6日 玄海原発4号機に新燃料66体を搬入したと発表。3、4号機の再稼働を受け5年ぶりに新燃料の受け入れを再開した。

7月7日 20時23分ごろ、千葉県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.0と推定。千葉県長南町で震度5弱、千葉県千葉中央区 千葉若葉区、館山市、木更津市、茂原市、東金市、勝浦市、市原市、鴨川市、君津市、南房総市、山武市、いすみ市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、大多喜町で震度4、ほか関東広域で震度3。